

効果的な保健事業を支援

★令和元年 12 月 16 日

令和元年度第3回熊本県国保連合会保健事業支援・評価委員会

熊本県国保連合会では、平成26年度から外部有識者による保健事業支援・評価委員会（以下、「評価委員会」）を設置し、県内国保保険者及び後期高齢者医療広域連合がPDCAサイクルに沿った効果的な保健事業を展開できるよう支援している。

また、平成30年度からは、医療関係者と市町村担当者の連携を進めるために、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の推進に向けた医療連携のための地区別学習会を実施しているところである。

今年度の評価委員会では、国民健康保険と後期高齢者医療における効果的な保健事業の実施に向けて、国保ヘルスアップ事業を実施している18保険者への助言に加え、委員と事務局が8市町村を訪問し、事業の進捗状況の聞き取りや抱えている課題に対する個別支援を実施した。

12月16日に開催した「第3回評価委員会」では、荒木栄一委員長（熊本大学大学院生命科学研究部代謝内科学分野 教授）をはじめ10人の委員が出席し、国保ヘルスアップ事業を実施している6市町村からの具体的な取り組み事例等の報告後、好事例の横展開に向けて、委員から市町への助言や参加者による意見交換を行った。

また、事前に6市町村から出されていた質問事項に対しても、各委員がきめ細やかな助言を行うなど、今後の事業実施に向けて有意義なものであった。

なお、今年度の評価委員会における支援実施状況は次のとおり。

【 評価委員会での支援・助言 】

○第1回評価委員会

※書面表決により開催

○第2回評価委員会

9月30日：熊本県

玉名市

後期高齢者医療広域連合

○第3回評価委員会

12月16日：熊本市

合志市

荒尾市

長洲町

上天草市

氷川町

【 保健師委員による個別支援 】

○8月23日：南阿蘇村

○9月11日：上天草市

○9月13日：嘉島町

○9月25日：菊池市

○11月6日：阿蘇市

○11月7日：相良村

あさぎり町

○11月13日：津奈木町



委員会の様子